

2002.10.17 文化論「ジェンダー論」

第3回「社会的地位と資源配分」(田中重人)

1. 階層論
2. 性別と階層
3. 「平等」の2類型
4. 仕事と家事の両立は可能か

【希少資源】

- ・ 人々の欲求の対象
- ・ 希少性

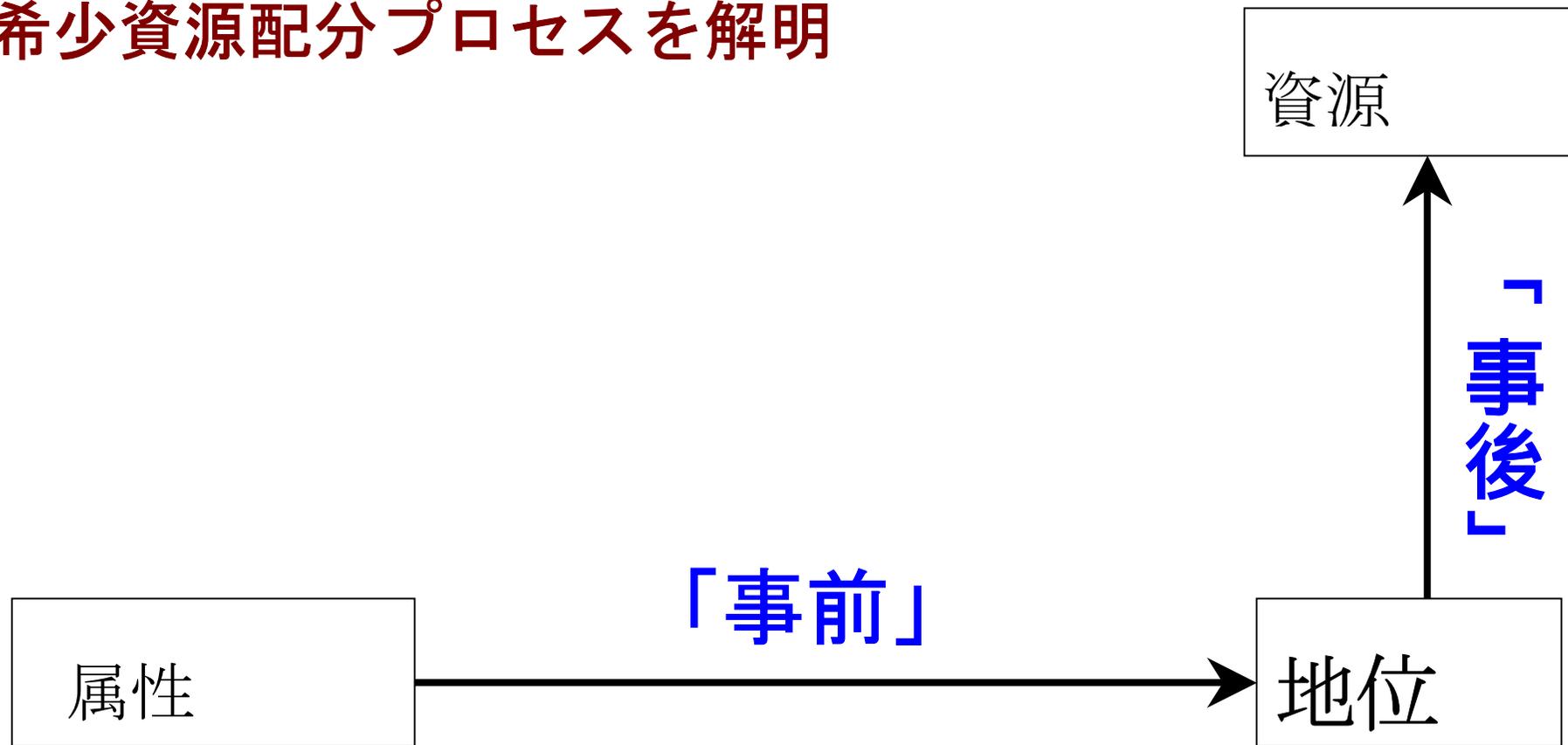
→配分の仕方が問題である

→不平等の問題

【階層論とは】

社会的地位を中心として

希少資源配分プロセスを説明



【プロセスの重層性】

つぎの2つを比較してみよう

(A) 裕福な家庭の子供は学歴が高くなる

(B) 学歴の高い人は収入が高くなる

- ・ 倫理的に「悪」か?
- ・ メカニズムのちがい
- ・ 政策的対応のちがい

【男女共同参画社会基本法】

1999 年法律 78 号 (6/23 公布・施行)

- ★ 男女の均等な利益享受 (第 3 条)
- ★ 性別役割に基づく制度・慣行の是正
(第 4 条)
- ★ 国・地方公共団体の施策実施義務
(第 8 条, 第 9 条)

【性別階層論】

・ 性別分業の問題



【仕事と家事の両立は可能か】

内閣府「男女共同参画基本計画」

- ★ 時短：年間 1800 時間労働
- ★ 育児支援（保育所など）
- ★ 男性の「家庭への参画」

- 1800 時間 = 1 日 8 時間労働
- 育児支援が完全に充実
= 育児時間がゼロ

→ 男女の時間配分は平等化するか？

30代の平日の平均生活時間によるシミュレーション。
(別紙参照)

- ・ 合計時間 (1292 分) を平等に分配
- ・ 男性の「仕事」時間 (563) を 8 時間 5 分に。
残りを家事にまわす
- ・ 「子供の世話」をゼロに
- ・ この条件で、男女平等に近づくよう分配する

(a)(b)(c)は女性のみ示す。(NHK「国民生活時間調査」2000年)

